

平成30年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

平成29年度アセアン加盟国中学生招聘交流事業 国際交流実行委員事後活動

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

昨年度、アセアン加盟国中学生招聘交流事業で国際交流実行委員を勤めた吉備中央町立加賀中学校の生徒が、ディスカッションのテーマであった「地域の伝統文化」について自分たちにできることを考え、地域の伝統的な祭りの中で実践する。

2. 事業の概要

（1）期日

（昨年度）

アセアン加盟国中学生との国際交流 平成29年11月20日（月）～28日（火）
事後研修 平成29年12月16日（土）

（今年度）

実行委員ミーティング（第1回） 平成30年 7月 9日（月）
実行委員ミーティング（第2回） 平成30年 9月13日（木）
加茂大祭 平成30年10月21日（日）
当番祭 平成30年10月28日（日）

（2）参加者

吉備中央町立加賀中学校 中学3年生10名（国際交流実行委員）
（平成30年時） 中学2年生 3名（国際交流実行委員）

計13名

（3）会場

ミーティング（第1回） 吉備中央町立加賀中学校視聴覚室
ミーティング（第2回） 吉備中央町立加賀中学校視聴覚室
加茂大祭 総社宮（吉備中央町）
当番祭 吉川八幡宮（吉備中央町）

（4）企画・運営のポイント

- ① 活動の中心は、地元の「地域の伝統文化」である加茂大祭と当番祭への取組とし、話し合いでゴミ問題に対する清掃活動となり、来場者にゴミ袋を配布して、「ゴミを落とさないように」「ゴミ箱まで運ぶ」「ゴミを持って帰ってもらう」ことを目的とした。
- ② 国際交流実行委員の生徒が集まりやすいように、ミーティングは吉備職員が加賀中学校に赴き、視聴覚教室で行った。
- ③ ミーティングは昼休みの20分間に限られるために、事前に研修だよりを生徒に渡し、確認事項や事前課題を伝え、短い時間の中で話し合いがスムーズに行えるようにした。
- ④ 清掃活動に必要な物（のぼり、プラカード、ネームタグ、ゴミ袋）は、生徒とのミーティングから出てきたアイデアを基に、吉備職員が制作・準備し、生徒や学校の負担を軽減するようにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

平成30年10月21日(日) 加茂大祭

平成30年10月28日(日) 当番祭

10:00 祭り会場集合 打合せ

10:10 ゴミ袋配布・清掃活動開始

13:00 活動終了 解散

(2) 活動の状況



【加茂大祭ゴミ袋配布活動】



【加茂大祭ゴミ袋配布活動】



【当番祭清掃活動】



【当番祭清掃活動】

4. 成果・課題

(1) 成果

- ① 実行委員からは、13名のうち7名の生徒が活動に参加した。参加した各生徒が責任感をもち、時間の許す限り活動に取り組むことができた。
- ② 活動の準備を進めていく中で、地域の伝統文化への理解や、地域との連携を深めることができた。総社宮と吉川八幡宮の宮司や吉備中央町の副議長との繋がりができ、「若い人たちがこのような形で地域の祭りに参加してくれることがうれしい。」と言葉をいただいた。参加した中学生からも「この祭りに参加するのは初めてです。」「この活動があるから久しぶりに祭りに来ました。」との声があり、地域の伝統文化に参加し、貢献することができた。
- ③ 町と企業が連携して行っている清掃活動と、生徒たちのゴミ袋配布活動が連動して、大きな活動に広げることができた。500枚のゴミ袋を来場者に配布し、祭り会場の美化を図ることができた。

(2) 課題

ディスカッションでの提案から約1年後の活動となることから、ミーティングの回数を増やしたり、時間を長く設定したりして行えば、より生徒たちの多岐に渡る自発的な活動を引き出したのではないかと思われ、長期間にわたる継続が課題である。

担当：企画指導専門職 佐藤 泰之